

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念を掲げている。また、法人理念に基づいて事業計画を作成している。	左記：継続
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人理念を事業所内（職員事務所等）に掲示し、意識付けを行っている。	左記：継続
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関に運営規定、契約書、重要事項説明書の内容を掲示している。また、玄関に法人理念を掲示している。	左記：継続
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	道ですれ違った近隣の方に挨拶を行っている。また、野菜を植えたりする際にアドバイスを頂いたり、地域の方が作られた野菜を頂いたりしている。	左記：継続
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	回覧で知り得た地区の行事に積極的に参加している。また、地域の行事に参加し易い様に計画を立て、勤務を調整している。	○ 左記：継続 地区の行事に参加し易いように区長さんや役員の方とお話する機会を作る。

グループホームグレイスフル下諏訪

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>町からの委託事業である認知症予防教室を地区の公民館等で実施している。</p>	○	<p>左記：継続</p> <p>運営推進会議や、地域との交流を通して、どんな事を必要としているのか、地域の方の声をくみ取って行きたい。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>左記：継続</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>左記：継続</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>左記：継続</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>地位権利擁護事業、成年後見人制度について勉強不足である為、職員間で勉強するようにしていく。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		<p>左記：継続</p>

グループホームグレイスフル下諏訪

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際、重要事項説明書、契約書を一通り説明し、ご家族より同意を得ている。また、解約の際は契約書の内容に基づいて利用者様、ご家族と話し合いを一緒に考える様にしている。	○	左記：継続 現在、よりご契約者様に納得して頂ける様な、ご説明が出来る様に、エリア部門別会議にて、契約書の内容の勉強会を行っている。また契約時のロールプレーを実施しようと計画中である。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員が、ご意見・不満・苦情を「つぶやき」と言う形で聞き取っている。また、介護相談員の方々が来て下さり、利用者様との会話の中でご希望や、要望をお聞きして下さる事もある。		左記：継続
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	グループホーム新聞を月に1度配布している。また、行事の写真をアルバムにまとめ、家人面会時に閲覧できるようにしている。金銭管理については「お小遣い帳」を作っている為、毎月事務職員が、出納報告を行っている。		左記：継続
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付から解決までの手順、受付担当者の連絡が記載してある用紙がグループホーム玄関に掲示してある。また、第三者委員会を設置している。		左記：継続
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度の職員会議を行っており、意見や提案を出し合っている。また、管理者と職員が定期的にミーティングを行っている。		左記：継続
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者様の予定に合わせて勤務表を作成している。勤務表作成後、各職員が見直しを行い勤務調整している。		左記：継続

グループホームグレイスフル下諏訪

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動者・離職者をあらかじめ、月1で配布しているグループホーム新聞にて報告している。また、利用者様、ご家族に混乱が招かないように、後任者との引継ぎをしっかりと行っている。</p>		<p>左記：継続</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>併設施設を含め勉強会は、年間を通して行っている。法人外で行われる研修も年間の計画に入れ、研修会に参加している。</p>	○	<p>左記：継続</p> <p>職員は「どのようなスキルを身につけたいのか。」の意見を聞き、身に付けたいスキルを伸ばせる様に、年間の計画に組み込み検討していく。</p>
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>相互の活動が共有できるように、今後他施設との交流を深めて行きたい。</p>	○	<p>相互交流（諏訪圏域グループホーム交流会）が開催されているが、勤務が合わず、一度も参加できていない。勤務の都合がつき次第、参加を前向きに検討する。</p>
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>法人長野エリアの親睦会があり、そちらの行事に参加して気分転換を行っている。</p>		<p>左記：継続</p>
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>チャレンジシートや実績評価表を基に個別の面接を行っている。それぞれ目標をもって仕事に取り組んでいる。</p>		<p>左記：継続</p>

グループホームグレイスフル下諏訪

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	契約前の面接の際に、ご本人に困っている事や不安等をお尋ねしている。お聞きした内容は、フェイスシートに記載し暫定ケアプランに反映するようにしている。	左記：継続
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	契約前の面接時に、「どのような生活をされて来たのか。」「今後、どのように生活して欲しいか。」などをお聞きするようにしている。	左記：継続
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学や、申し込みにこられた利用者様のお話を聞き、必要に応じて、併設施設の老健や特養の企画開発スタッフを紹介し、見学へすぐに行ける様に手配している。	左記：継続
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前に、施設の見学をして頂く。また、一日数時間グループホームで過ごして頂き、施設の様子を感じ取って頂いてから入居される場合がある。	左記：継続
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事作り、お掃除を一緒に行い、職員が分からない所は、利用者様にお聞きしている。また、食事を一緒に摂っている。	左記：継続

グループホームグレイスフル下諏訪

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者様のご様子を常に、ご報告している。ケアプラン作成にも協力していただいている。		左記：継続
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	グループホームの行事に参加して頂いたり、夏には暑中見舞い、お正月には年賀状をお送りしている。		左記：継続
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族に協力して頂き、馴染みの方には、暑中見舞いや年賀状をお出ししている。また、お盆やお正月には帰省出来る様に呼びかけている。		左記：継続
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様が関わり合えるようなスペースを作っている。(食堂のベンチ、ソファスペース) お話好きなご利用者様がお話を盛り上げて下さり、皆さん孤立されずに生活している。		左記：継続
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	年賀状などのやり取りをしている場合がある。また、電話等で連絡を取り合い、退居後の相談支援を行っている。		左記：継続

グループホームグレイスフル下諏訪

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「利用者様プロフィール表」やアセスメント用紙を用いて、ご本人の意向や希望を把握している。また、「利用者様のつぶやき」からも、聞き取りを行っている。	左記：継続
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面接時に得た情報を「フェイスシート」に記入している。また、ご家族に協力して頂き、「利用者様プロフィール表」を作成して頂いている。生活状況の把握に努めている。	左記：継続
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個人記録に一日、一日の様子を記入し、全職員、現状の把握に努めている。	左記：継続
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人や、家族に相談しながらケアの方針を立て、介護計画書を作成している。	左記：継続 利用者様ご本人や、ご家族にカンファレンスに参加して頂けるように、呼びかけている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度見直しを行っている。また、身体状況や認知症の進行状況に応じて見直しを行っている。その都度、ご家族に相談している。	左記：継続

グループホームグレイスフル下諏訪

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画書をカルテにはさみ、職員同士で情報を共有している。また、利用者様の日々の変化や、つぶやき、ひやり・ハットについても記録に残して情報を共有している。		左記：継続
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	必要に応じて病院受診や個別外出を行っている。また、ご家族が宿泊出来る様にしている。		左記：継続
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方に来て頂き、歌やマジックを披露して頂いている。とても利用者様に好評である。また、年に一度、合同で避難訓練を行っている。今年度は、区長、地元消防団等に協力して頂き、グループホーム独自で避難訓練を実施した。	○	左記：継続 今年度も、再度地元の方に協力を頂き、グループホーム独自の避難訓練を行う予定である。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	併設施設に老健と特養があり、そちらの相談員に相談し、利用者様を受け入れて頂く事がある。		左記：継続
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	全体の入居状況をお伝えしているようにしている。現在は個々の状況で困っている事はない為、必要に応じて協働していく。		左記：継続

グループホームグレイスフル下諏訪

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		左記：継続
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		左記：継続
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	左記：継続 看護職との連携を図る事が出来る様に調整中である。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		左記：継続
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		左記：継続
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		左記：継続

グループホームグレイスフル下諏訪

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他施設に移られる際は、他施設の介護職の方に、直接その方のご様子をお伝えしたり、退居指導書を作成し、ADLレベル等を細かく記入し情報提供を行っている。		左記：継続
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「利用者様のつぶやき」、「せりふ集」を活用し、常々対応を振り返っている。また、定期的に「声掛け」についての勉強会を行っている。記録については、必ず個人情報がある物はシュレッダーにかけている。		左記：継続
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	「利用者様のバックグラウンド」や「つぶやき」の中から情報収集を行い、ご本人の「やりたい事」を見極め、利用者様が納得した生活が送れるように支援している。		左記：継続
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の都合に合わせて業務を考えている。臨機応変に対応出来る様になっている。		左記：継続
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	洋服は、その日の希望に添って着て頂いている。理美容に関しては、ご家族に行きつけの所があるかを伺い、ご家族がカットへお連れしている方がおられる。また、こちらでお店を決定させて頂き、ご本人の希望に合えば、そちらへお連れしている。		左記：継続

グループホームグレイスフル下諏訪

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		左記：継続
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		左記：継続
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		左記：継続
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		左記：継続
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		左記：継続
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		左記：継続

グループホームグレイスフル下諏訪

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数名の利用者様は、ご家族に協力とご理解を得て、数百円程度、ご自分で管理して頂いている。そのお金で、ジュースやお菓子等を購入されている。また、「お小遣い帳」を利用者様全員に作って頂き、職員が通帳と印鑑を管理している。		左記：継続
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	玄関の鍵は開けっ放しにしており、自由に行きたい所へお出かけされている。		左記：継続
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別レクリエーションを行い、希望にそった所へお出かけしたり、している。	○	左記：継続 来年度は、一泊旅行を計画したい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所の電話を希望があればつなぐ様にしている。手紙を書きたいと言われる方には、便箋と封筒を用意して書いて頂いている。		左記：継続
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者様と面会に来られた方にお茶をお出ししたり、椅子をお貸ししたりし、お話し易い空間を作っている。		左記：継続
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束」についての勉強会を、職員、全員に行っている。理解した上で、拘束をしないケアに取り組んでいる。身体拘束は行っていない。		左記：継続

グループホームグレイスフル下諏訪

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		左記：継続
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		左記：継続
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		左記：継続
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		左記：継続
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		左記：継続
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>左記：継続</p> <p>今後も、運営推進会議等で、防災についての協力を呼びかけていく。</p>

グループホームグレイスフル下諏訪


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ケアプランの指示、面会時に利用者様に起こりえるリスクについてお話するようにしている。また、利用者様の意見、ご家族の意見を踏まえて、一番良い対応策を考えるようにしている。		左記：継続
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	利用者様の体調に変化があった場合は、主治医、ご家族へ連絡させて頂き、必要であれば、病院受診を行っている。		左記：継続
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をカルテの中に挟んでおり、職員全員で把握出来る様になっている。また、内服薬の変更が変更や症状の変化がある場合は、個人記録に記載している。		左記：継続
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分をこまめに摂って頂いたり、乳製品を定期的に摂る様に促している。また、ラジオ体操、散歩など、なるべく体を動かすように心掛けている。また、必要であれば、主治医に相談している。		左記：継続
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの勉強会を行い、全員毎食後歯磨きを行っている。また、口臭予防の為、水歯磨きで口をゆすいで頂いている。		左記：継続
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の咀嚼、嚥下の状態に合わせて、食事の対応を行っている。また、栄養のバランスについては時折、併設施設の栄養士に確認して頂いている。		左記：継続

グループホームグレイスフル下諏訪

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防マニュアルにそって対応している。入所時に、情報提供書の提出を依頼し、感染の疑いがないか確認を伺っている。		左記：継続
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	利用者様、職員共に、食材を扱う時は、「正しい手洗いの方法」を元に手洗いを実施している。手洗い場には、手洗い方法を掲示している。また、まな板、包丁、シンクはアルコール除菌に努めている。賞味期限切れの物に関してはすぐに廃棄処分している。		左記：継続
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に花を飾っている。花壇の家庭菜園には野菜を植え、地域の方にアドバイスを頂いている。また、玄関前にベンチを設置し話し易い空間を作っている。		左記：継続
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には、季節のお花を飾ったり、季節に合わせた絵画を飾っている。また、不快な音がない様に、生活から出される音に配慮を行っている。	○	左記：継続 食堂の証明が暗い為、照明の設備を検討する。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂内に、ソファを設置し、お一人になりたい場合には、雑誌や新聞を読まれている。そのスペースで気の合う仲間と、お話をされている。		左記：継続

グループホームグレイスフル下諏訪

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	お部屋には、ご自宅でご本人が使用されていた家 具を持って来て頂いたり、ご本人がお気に入りの 装飾品を飾って頂いたりしている。		左記：継続
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	日中に換気を行っている。その日の天候や希望に そって温度調整を行う。大体28℃を目安にして いる。		左記：継続
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	利用者様の状態に合わせて、手すりを設置した り、杖さしを作成したり、安全を確保している。		左記：継続
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	利用者様の使い慣れた物、親しみのある物をご家 族にお持ちして頂く様に依頼している。居室に は、利用者様それぞれの、表札を作成している。		左記：継続
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	建物の周囲の花壇で園芸を楽しんだり、花に水 をあげたり、それぞれ役割を持たれている。		左記：継続

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホームグレイスフル下諏訪

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

近くに神社があり、皆さん自由に散歩をされている。また、地域の方にご協力して頂いて、防災マニュアルを見直した。いざと言う時は、地域の皆さんに協力して頂くように連絡をとっている。